

2025

安全報告書（2024 年度報告書）

～安全への取組～



一畑電車株式会社

も く じ

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

社長ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(3)

2. 安全確保に関する基本方針と目標

(1) 安全基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(4)

(2) 2025年度安全目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(4)

3. 安全管理体制

(1) 各管理者の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(4)

(2) 安全管理組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

(3) 安全管理の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)

4. 安全輸送の実態(2024年度の事故等発生状況)

(1) 鉄道運転事故・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)

(2) インシデント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)

(3) 輸送障害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(7)

(4) 災害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(7)

(5) 行政指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(7)

5. 安全重点施策の内容

(1) 安全重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(8)

(2) 安全への設備投資・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(8)

(3) 安全への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(9)

(4) 踏切道の安全対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(11)

(5) 自然災害対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(11)

(6) 社員教育・訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(12)

(7) 乗務員の資質管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(14)

6. 地域の皆様へお願い

(1) 踏切事故防止にご協力ください・・・・・・・・・・(15)

(2) 線路でのいたずら防止にご協力ください・・・・・(15)

(3) 列車撮影時のマナー向上にご協力ください・・・・・(15)

(4) AED(自動体外式除細動器)の設置・・・・・・・・・・(16)

(5) 防犯カメラの設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(16)

(6) ホーム上の安全確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(16)

(7) 車内非常通報装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(16)

(8) 計画運休・運転再開の情報提供のタイムラインの作成・・・・・(17)

(9) こども110番の駅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(17)

(10) ご意見箱の設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(17)

7. 新型コロナウイルス感染防止対策・・・・・・・・・・(18)

8. 地域とのふれあい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(18)

9. お問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(18)

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

平素より、当社鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年度、弊社におきましては、役職員全員が社内に制定する安全の確保を最優先とする安全基本方針に基づき、輸送の安全確保に努めると共に、一畑電車沿線地域対策協議会様をはじめ沿線地域の皆様による厚いご支援により、安全に関わる設備を積極的に更新・改善してまいりました。

しかしながら、令和6年10月・12月に踏切遮断機が降下しないまま列車が通過するというインシデントが発生いたしました。この事象につきましては、大きな事故に直結する重大なインシデントとして重く受け止め、徹底的に原因究明を行い再発防止を図りました。

また、令和5年11月に発生した第4種踏切道での事故発生以後、踏切通行者に対し踏切の存在を光と音声で知らせる機器「踏切クロスゲート」を設置し、より一層の注意喚起に努めてまいりました。今後も年次計画に沿って残りの第4種踏切にも同様に設置していく計画にしております。
(注:第4種踏切とは、警報機、遮断機いずれも設置していない小さな踏切)

今後も引き続き、有責事故ゼロはもちろんのこと、インシデントを始めとするあらゆる事故の発生を抑止し、併せて近年増加傾向にある自然災害に伴う輸送障害に備え、お客様が安心してご利用いただける交通機関を目指して更なる努力をしてまいります。

一方、令和7年3月には運賃改定を実施させて頂きました。これは、消費税改定時を除き29年振りの改定となります。沿線人口は、時代と共に少子高齢化が進み、減少傾向に歯止めがかからない状況が続いております。又、原油価格高騰に端を発する電気料金の高騰により厳しい経営を強いられております。運賃改定にあたりご利用者の皆様にはご負担をおかけする結果になり、大変心苦しいところではありますが、何卒趣旨ご理解賜りますようお願い申し上げます。

安全のための設備改善などの投資は、国や沿線自治体様の支援を賜りながら、計画に沿って確実に実施していくと共に、安心してご利用頂くための社員教育、訓練も同時に推進し、更には警察署、消防署と連携し実際の事故を想定した大規模訓練を通して安心、安全な地域公共交通の実現を目指して邁進してまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、各事業年度における輸送の安全確保のための取組実績、その他安全に関する情報について、公表するものでございます。

この報告書を是非ご覧いただき、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。



一畑電車株式会社

代表取締役社長 谷口 学

2. 安全確保に関する基本方針と目標

(1) 安全基本方針（行動規範）

当社の基本方針は、「安全・安定的な輸送サービス」を提供することを第一義とし、社長以下全社員に対して次のとおり安全に係わる行動規範を定め周知・徹底を図っています。

- ①安全の確保を最優先とし、一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関係する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- ④職務の遂行に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑いのある時はもっとも安全と思われる取扱いを行います。
- ⑤事故又は事故のおそれのある事態、災害、その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある事態が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、相互に協力して速やかに安全かつ適切な処置をとります。
- ⑥安全に係わる情報は、迅速かつ正確に関係箇所に伝え、その共有化を図ります。
- ⑦常に問題意識を持って行動し、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

(2) 2025年度安全目標

当社においては2025年度安全目標を次のとおり定めています。

項目	内容
鉄道運転事故	有責事故を発生させない
インシデント（事故の兆候）	発生させない
輸送障害（運輸局報告対象）	前年度より1件以上削減
輸送障害（運輸局報告対象外）	前年度より1件以上削減

3. 安全管理体制

(1) 各管理者の役割

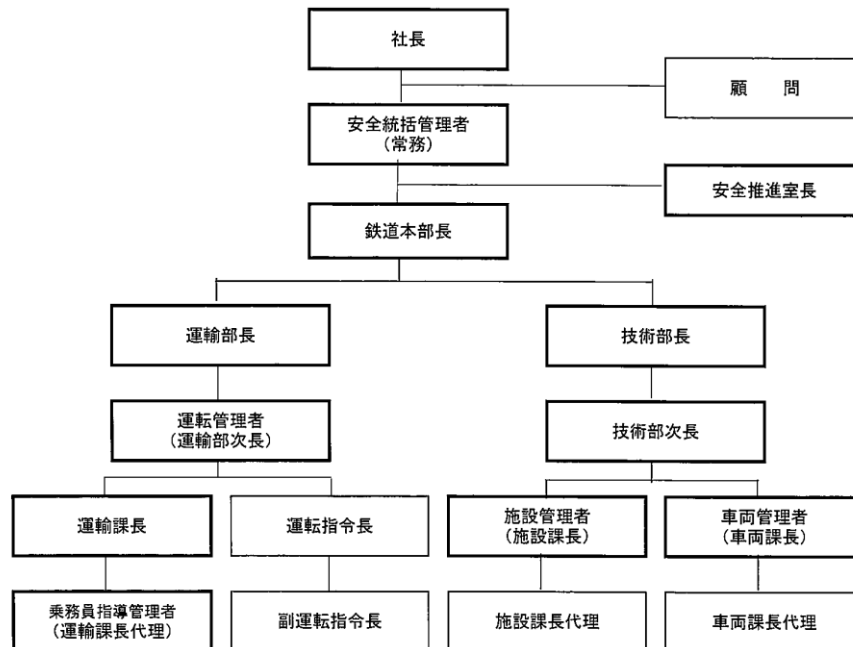
役 職	役 割
代表取締役社長	輸送の安全に関する最終的な責任を負う。

安全統括管理者 常務取締役	輸送の安全に関する業務を統括する。
運転管理者 運輸部次長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 運輸課長代理	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者 施設課長	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者 車両課長	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

(2) 安全管理組織

2006年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築して運用いたしました。

安全管理体制図



(3) 安全管理の確認

◆安全対策委員会及び安全対策幹事会

毎月1回社長・安全統括管理者の下、管理職全員で月ごとの事故事例を検証し再発防止に活用しています。またヒヤリハット収集を推進し、事故の芽を早期に見つけ出し事故防止に活用いたします。更に再発防止策をはじめとする安全対策を協議し実施します。

◆内部監査（運輸安全マネジメント）

安全管理規定に基づき各職場長に対し、安全に関する確認を行っています。
結果に基づき必要な是正措置及びフォローアップを行います。
また、新たに経営トップに対する内部監査も実施してまいります。

◆経営トップの職場巡回

春・秋の交通安全運動期間中、並びに夏・年末年始等の繁忙期間中、経営トップによる職場巡回や職場会への出席などを行い、安全管理の実施状況確認を行っています。また安全統括管理者による列車添乗を定期的に実施しています。

◆一畑グループ交通安全部会

一畑グループの交通部門経営トップで組織し、各社の安全対策を共有し事故防止に反映させています。

◆緊急時対策本部

重大事故・災害が発生した時、及び災害が発生する恐れがある場合には、本社内に対策本部を設置し、情報収集・代替輸送手配・復旧作業管理・お客様への情報発信等を行います。

4. 安全輸送の実態（2024年度の事故等発生状況）

(1) 鉄道運転事故

運転事故は発生していません。

(2) インシデント（事故の兆候）

鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事象が2件発生いたしました。

運転事故・インシデントの発生件数推移

	列車衝突	列車脱線	踏切障害	道路障害	人身傷害	インシデント	合計
2022年度	0	0	0	0	0	0	0
2023年度	0	0	1	0	0	0	1
2024年度	0	0	0	0	0	2	2

インシデントの発生状況と再発防止策

発生日	種別	内容	再発防止策
令和6年10月4日	インシデント	遮断、動作していない踏切道を列車が通過(常松7)	単車運転時の車両の台車間距離を適正な受信点間になるよう改修した。
令和6年12月14日	インシデント	遮断、動作していない踏切道を列車が通過(西浜佐陀県道)	連動している踏切道のAFO受信器が故障した場合には、警報持続するように制御回路を変更した。(故障の原因は落雷)

(3) 輸送障害(30分以上の遅延または運休)

輸送障害の発生件数

	社内要因	社外要因	自然災害等	合計
2020年度	6	1	6	13
2021年度	7	1	4	12
2022年度	3	5	4	12
2023年度	2	7	9	18
2024年度	6	4	6	16

2024年度、弊社における輸送障害(運輸局報告対象)の内、弊社に責任のある社内要因は前年2件から6件に増加する結果となりました。そのうち車両故障が4件発生し、いずれも運休を伴う結果となりました。

また、ゲリラ豪雨が多発し4件の運休、運転見合わせが発生いたしました。

利用客の皆様には大変ご不便、ご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。

(4) 災害(地震、風雨等による被害)

2024年度、弊社における自然災害を原因とした被害は発生しておりません。

(5) 行政指導

ありませんでした。

5. 安全重点施策の内容

(1) 安全重点施策

2021年度から一畑電車沿線地域対策協議会様による支援計画が改められ、2025年度までの5年間に亘る支援計画が新たに策定されました。現在支援計画を基に設備更新等を中心とした取組を進めているところです。また、支援計画とは別に、鉄道施設を維持していくうえで定常的に必要となる経費をご支援いただき、更なる安全性の維持向上にも取り組んでいます。

なお、これら事業の実施にあたっては一畑電車沿線地域対策協議会（島根県・出雲市・松江市）及び国の各種補助制度（鉄道施設総合安全対策事業費補助等）を活用させていただいております。

また、2026年度以降の支援計画については、国による新たな支援制度を活用しながら、次期支援計画を策定させていただきました。（令和7年6月24日付けで国の鉄道事業再構築実施計画に認定されました。）

***計画期間：令和7年7月1日～令和17年3月31日**

安全に係わる設備改善の2024年度実績及び2025年度の計画は下記のとおりです。

(2) 安全への設備投資

項 目	2024年度実施	2025年度計画
道床交換	153m	180m
枕木交換	1,132本	1,125本
レール交換	119m	160m
電車線更新	134m	131m
軌道回路の更新	2区間	2区間
ポイント融雪設備更新	7箇所	6箇所
通信ケーブル更新	9,555m	4,406m
橋梁耐震補強	13橋	6橋
直流高速度遮断器更新	—	2基
変電所計器用変圧器更新	1台	—
車両更新	8000系1編成1両導入 5000系1編成2両廃車	8000系1編成1両導入 2100系1編成2両廃車

(3) 安全への取り組み

新型8000系車両導入

車両設計及び基本構造は既存の7000系車両と同様です。座席は、固定ロングシート部分とロングシート・クロスシートを切換えることができるLCシートを新たに採用いたしました。その他、車内防犯カメラ、車側カメラを新たに搭載し、映像で安全確認できるシステムを構築しました。



前面



運転席



客室



防犯カメラ

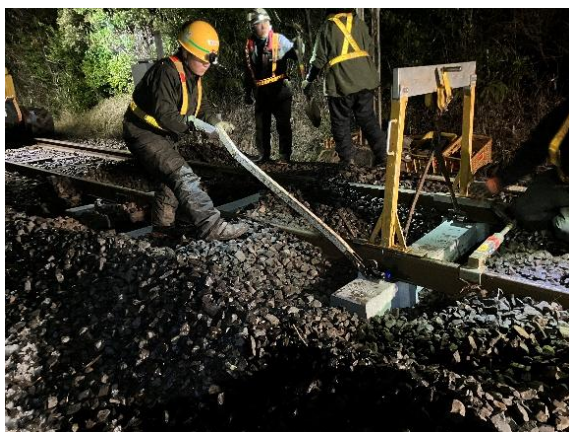


車側カメラ



運転席車側モニター

線路の点検、整備



保安設備の点検、整備



車両の点検、整備、安全確認



(4) 踏切道の安全対策

踏切監視装置

踏切内で障害物により踏切支障が発生した場合、自動的に運転指令に通知すると共に映像を録画保存できる機器を設置しています。



第四種踏切道接近警報装置「踏切クロスゲート」の設置

第4種踏切道での事故を防止するための警報装置を新たに設置いたしました。踏切道のセンサーに通行人（車）などが接近すると注意ランプが点灯し、スピーカーから警報の音声（左右を確認）が流れ、通行者に安全確認を促します。



設置前



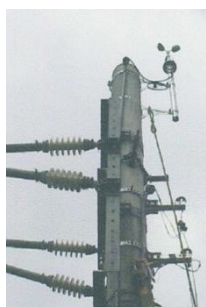
設置後

(5) 自然災害対策

沿線の風速や雨量を観測し、規制値に達した時は直ちに運転規制を行います。



風速計



雨量計



(6) 社員教育・訓練

2024年度安全に係わる教育及び訓練を以下のとおり実施いたしました。

【施設課】

机上での実施基準教育、及び列車防護訓練を行いました。

事故発生時に列車内の乗客を速やかに避難誘導できるよう避難梯子の取り扱い訓練を実施致しました。



【車両課】

車両実施基準、リスクアセスメントの安全教育を実施いたしました。

現場で列車検査等行う際に、事故防止のためのKY活動を日常的に行っています。



【運輸課】

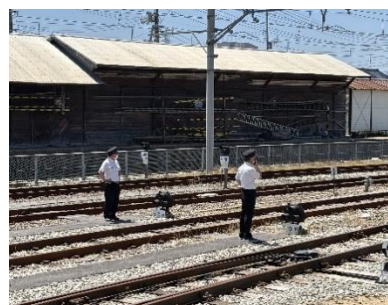
職場会を開催し繁忙期の多客対策、異常時等に的確な処置及び判断ができるよう机上教育、実設訓練を実施いたしました。



【運転指令】

自動信号制御装置が使用できない場合を想定した、手動での信号操作訓練を行いました。

また、現場で実際に転てつ器を扱う訓練を行いました。



【一畑電車総合事故対応訓練】

過去の重大事故を教訓として、事故を風化させないための大規模訓練を行いました。



(情報伝達)



(警察、消防との連携)



(救出訓練)



(脱線復旧)



(線路・遮断機復旧)



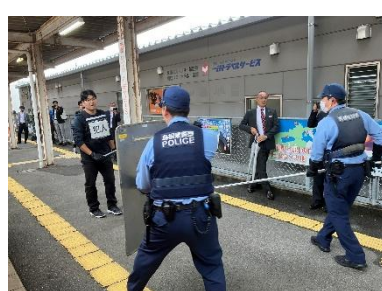
(復旧作業報告)

【テロ訓練の実施】

鉄道施設で発生した不審者、不審物発見時に対応できるよう公共機関と連携し訓練を実施。



(駅員の初期対応)



(警察通報)



(警察制圧)

【JR西日本中国統括本部様との合同事故対応訓練】

JR西日本中国統括本部様と合同で並行区間での事故を想定した復旧訓練を行いました。

JR運輸指令と一畑電車運転指令が運転抑止解除までの情報伝達訓練を行いました。



事故状況



トリアージ



現場検証

(7) 乗務員の資質管理

乗務員は常に安全意識を持ち、出退勤点呼時に飲酒検査を行い安全運行に努めます。
又、携帯電話（スマートフォン）の保管状況確認も併せて行います。
点呼時にアルコールを検知した場合、当日の業務はいたしません。また乗務員だけではなく社有車を運転する従業員もすべてアルコール検査を行っています。



(厳正な点呼)



(飲酒検査)



(添乗指導)

(8) 運転士への保護メガネ（サングラス）貸与

運転士は、常に日光に晒され特に朝日、夕日に向かって運転する場合は十分な視認性が確保できません。また、昨今の強い日差しにより視力を中心に健康被害も懸念されることから、安全な運転環境確保と健康被害防止のため、保護メガネ（サングラス）を導入貸与いたしました。（2023年8月14日）お客様にはご理解をお願いいたします。

一畑電車では、安全な運転環境を整え、乗務員の負担軽減に繋がるため保護メガネ(サングラス)を導入することになりました。

TALEX”オーバークラス””クリップオン”および”フリップアップ”が選ばれました。



【画像提供：(株) タレックス様】

6. 地域の皆様へお願い

(1) 踏切事故防止にご協力下さい。

2024年度においては、踏切での一旦停止及び左右の安全確認を怠ったことが原因による踏切支障等が6件、踏切遮断桿の折損等が5件発生しています。第4種踏切道を横断する際は、一旦停止のみならず、左右の確認は絶対に怠らないようお願いいたします。万が一、踏切内でトラブルが発生した際には、第1種踏切の場合は、速やかに踏切押ボタンを押して、接近する列車に知らせてください。第4種踏切の場合は、速やかに最寄の駅、または弊社までご連絡いただくと共に、線路から離れた位置で接近する列車に対して手を振るなど列車停止手配をお願いいたします。

第1種踏切道 警報機、遮断機の両方が設置してある踏切道

第3種踏切道 警報機のみ設置してある踏切道

第4種踏切道 警報機、遮断機の両方が設置されていない踏切道

【踏切事故防止】

踏切事故防止キャンペーン、全国交通安全期間中、警察署協力の下主要な踏切道での街頭指導を行いました。



(2) 線路でのいたずら防止にご協力下さい。

線路内での置石や投石などのいたずらは、刑法第125条「列車往来妨害罪」に問われます。線路施設内には入らないよう、また障害を発見した場合は直ちにご連絡をお願い致します。
(一畑電車 運輸部運輸課 0853-62-3021)

(3) 列車撮影時のマナー向上にご協力ください。

列車を撮影される際、駅ホーム黄色い線の外側での撮影や軌道内への立ち入りは接触事故発生など大きな危険を伴います。また、運転中の列車運転台に向けてのフラッシュ撮影は、運転士が一時的な視界不良に陥るため、絶対におやめください。

私有地への立ち入りなど立入が禁じられている場所へ無断で入らないようお願いいたします。撮影マナー向上にご協力をお願い致します。

(4) AED（自動体外式除細動器）の設置

AED(自動体外式除細動器)設置箇所

電鉄出雲市駅、出雲大社前駅、川跡駅、雲州平田駅、松江しんじ湖温泉駅に設置しています。必要に応じ躊躇うことなくお使いください。



(5) 防犯カメラの設置

有人駅、無人駅に防犯カメラを設置し犯罪を抑止すると共に事件発生時のデータを保存することで早期解決を図ります。

(全駅設置済)



(6) ホーム上の安全確保

ホームからの転落事故防止のため、内方線付点状ブロックの設置を順次進めると共に、係員による積極的なお声掛けをさせていただきます。

又、歩きスマホによる転落事故防止のための注意喚起も行っております。

皆様のご協力をお願いいたします。



(内方線付点状ブロックの設置)

(7) 車内非常通報装置

列車の車内で事件・事故や急病人が発生したとき、乗務員に非常事態を知らせるための装置です。

緊急で乗務員に知らせる必要があるときは、赤いボタンを押してお知らせください。



(車内非常通報装置)

（８）計画運休・運転再開の情報提供タイムラインの作成

自然災害による被害を最小限に留め、お客様の命を守る取り組みの一環として、事前に計画運休を実施する場合があります。計画運休を実施する場合には、「計画運休・運転再開における情報タイムライン」としてルール化し、ご利用者の皆様へのきめ細かい情報提供に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

併せて、外国人のお客様への対応として、可能な限り外国語での運行情報発信に努めてまいります。

（９）こども１１０番の駅

当社の有人駅では、「こども１１０番の駅」の取組みを行っています。こどもが助けを求めてきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって１１０番通報を行います。また、被害にあった時だけではなく、日頃から安全・安心への配慮と安全・安心な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しくフレンドリーな優しい駅を目指しています。

実施駅・・・松江しんじ湖温泉、雲州平田、川跡、電鉄出雲市、出雲大社前各駅

（１０）ご意見箱の設置

当社では、利用者の皆様の声をお聞きするために、有人駅（５駅）にご意見箱を設置し安全及びサービスの向上に反映させています。また、寄せられたご意見に対し可能な限り回答いたします。皆様からのご意見をお聞かせください。

7. 新型コロナウイルス感染防止対策

[抗菌対策]を施工済み。（全車両・体験運転用車両・券売機）



8. 地域とのふれあい

電車ご利用のお客様をはじめ、ご支援いただいている地域の皆様への感謝の気持ちを込め、一畑グループ感謝祭を開催いたしました。またイベント列車（絵本読み聞かせ電車、おでん電車、ビール電車等）を企画し楽しいひと時を電車内で過ごしていただきました。



感謝祭



ビール電車



おでん電車

9. お問い合わせ先

本安全報告書へのご感想、及び当社への取組みに関するご意見は下記までお寄せ下さい。
皆様からのご意見お待ちしております。

一 畑 電 車 株 式 会 社 業務部営業課	
TEL 0 8 5 3 - 6 2 - 3 3 8 3	FAX 0 8 5 3 - 6 2 - 3 3 8 4
E-mail tetsudou@densya.ichibata.co.jp	
■ 月～金 9：00～17：00（年末年始を除く）	